

柳町小学校教室増築の諸施設に関する要望
に対する教育委員会・区の考え方

要 望 項 目	考 え 方
① 普通教室（6教室分増設）	整備資格面積の中で確保していきます。 【資料第7号、第8号、第11号】
② 特別教室（3室）の移設	増築校舎をどこに建設するかで異なります。工事に伴い既存校舎で干渉する場合には、検討します。
③ 特別支援学級（1コマ分増設）	特別支援学級については、今後とも現状の規模で対応が可能であると考えます。
④ 職員室用会議室（1コマ分増設）	整備資格面積を目安とし、その範囲で学校運営上必要な学校用会議室1教室分について新たに加える方向で検討します。
⑤ 職員室（0.5コマ分拡張）	職員室の拡張は、将来状況に応じて既存校舎を改築する段階で検討していきます。
⑥ 図書室の移設	職員室の拡張は、将来状況に応じて既存校舎を改築する段階で検討していきます。教材庫については、増築する部分の中で検討していきますので、現段階で図書室の移設は考えておりません。
⑦ 職員用更衣室（0.5コマ分増設）	25年度中に移設した職員用更衣室で対応可能と考えております。
⑧ 教育相談室（0.3コマ分増設）	「新たに設置する教室等」として0.3教室分を想定しています。【資料第9号2(2)】
⑨ 少人数教室（1コマ分増設）	教育環境確保のための必要教室等として0.7教室分を想定しています。教具教材の保管スペースについては、具体的な設計において検討していきます。
⑩ 特別支援教室（柳ルーム）（1コマ分増設）	教育環境確保のための必要教室等として想定しています。【資料第9号2(2)】 少人数教室と入れ替えて現状と同様の0.5教室分の想定です。
⑪ 教材庫（空きスペース）	教材室については、整備資格面積を目安として設計上可能な範囲で検討します。
⑫ 倉庫（1コマ分増）	倉庫については、整備資格面積を目安として設計上可能な範囲で検討します。
⑬ 放送室（0.3コマ分増設）	25年度に移設する放送室の広さで今後ともスペースとして十分対応できると考えています。

【資料第13号】

⑭ 多目的室、ランチルーム（1コマ分以上増設）	現状の与条件の中では、更に専用の部屋を設けることは難しいと考えています。
⑮ 備蓄倉庫（0.5～1コマ分増設）	備蓄倉庫については、現在の広さで今後とも十分対応できると考えています。
⑯ PTA 会議室（0.5 コマ分以上の増設）	復旧対象教室として現状と同様に 0.5 教室分の会議室を想定しています。 【資料第7号2(2)、第9号2(1)】
⑰ 既存校舎	今回の教室不足対策は、教室増設を前提としており、既存校舎は改築の段階に至っていないと考えます。既存校舎の改修については、今後の区立小中学校全体の改修の中で検討していきます。
⑱ 第二育成室の改築、第三育成室、第四育成室の増設	<p>ここ3年間、育成室利用割合が減少傾向にある中で、平均値をとって予測数を算出したものであり、この地域ではさらに1育成室を確保することで対応が可能と考えております。</p> <p>なお、東京の人口は2020年（平成32年）をピークに減少に転じ、4人に1人が高齢者となるという予測もあることから、将来予測にあたっては今後の推移を注視していく必要があります。</p>
⑲ 放課後全児童事業の拠点（1.5 コマ分増設）	放課後全児童向け事業については、新たなスペースを設置するのではなく、校庭や体育館、図書室など、放課後開放できる学校のスペースを有効活用しながら、保護者や地域の大人の見守りにより実施しております。
⑳ 地域連携室（0.5 コマ分増設）	地域の活動については地域活動センター等を活用いただきながら、教室不足対策としての教室の増設確保を優先して取り組んでまいります。